



第2回 全国中学校 リズムダンス ふれあいコンクール 自由曲部門 文部科学大臣賞 受賞!

上沼田中学校

かみぬまたPRIDE
(当時1年生1組・2組)

◆ 全国大会会場の赤坂 BLITZ で渾身のダンスを披露

体育担当の岡本先生は、「生徒に本物を体験させたい」と、ダンスに精通した知人に指導の協力をお願いしました。練習を重ねる中で、生徒たちの「周りを楽しませようとする姿」に可能性を感じた先生は、クラスでコンクールへの参加を決めました。

リーダーの中澤さん、田代さん、池田さん、田中さんは、「最初はチームの気持ちはバラバラ。でも、みんなへの声かけを意識し、本番が近づくとつれて気持ちは高まっていった。それでも、何か足りなかった」とチームの様子を語りました。

そんな時、指導者たちは生徒たちを鼓舞すべく、サプライズでダンスを披露しました。その後のチームの変化を、リーダーたちはこう話します。「全部がまとまった。チームの結束が一気に高まり、思いっきり練習した」。生徒たちは、ダンスを教えてくれた指導者たちへ「恩返ししたい」と臨んだダンスでは「思いが込み上げて、みんなぼろぼろに泣いていた」と話します。

団結力を増したチームは、優勝という結果をつかみました。ダンス歴十数年の岡本先生は、「ダンスを見てこんなに感動したことはない。生徒たちは、感謝する気持ち、団結する素晴らしさ、そして何より素晴らしい仲間を得た」と大会を振り返りました。

すごいね! あだちの 子どもたち

VOL.15

第36回全国 JOC
ジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会
女子400mメドレーリレーでも
2人の活躍もありチームは
優勝をつかみました。



第46回 ジュニア優秀選手 招待公認記録会 女子50m背泳ぎ

- 第1位 花畑北中学校
内藤 凜音 さん
(当時2年) 写真左端
- 第3位 花畑北中学校
内藤 葉音 さん
(当時2年) 写真右端

姉妹は良きライバル。同じ表彰台上った内藤凜音さんと内藤葉音さんは双子の姉妹。保育園の年長から水泳を始めて以来、ずっと一緒に練習に励んできました。

スイミングスクールのコーチである荒川氏は、姉の凜音さんを「時間がないうちでも筋トレに励んだり、練習を休まない努力家」、対して妹の葉音さんを「習ったことをすぐに身につけることができる天才肌」と評します。違うタイプの2人に共通するのは、負けず嫌いなこと。荒川氏は、「練習中に互いのタイムを気にして頻繁に確認しに来るなど、意識しあっている」と言います。

姉妹は「競い合って練習してきたから良い刺激になり、2人で成長してこられた」と話します。

14年ぶりに同じ中学生で日本代表に内定した「池江璃花子選手とも競えるような選手になる」という共通の目標に向って、これからも2人は高め合っていきます。